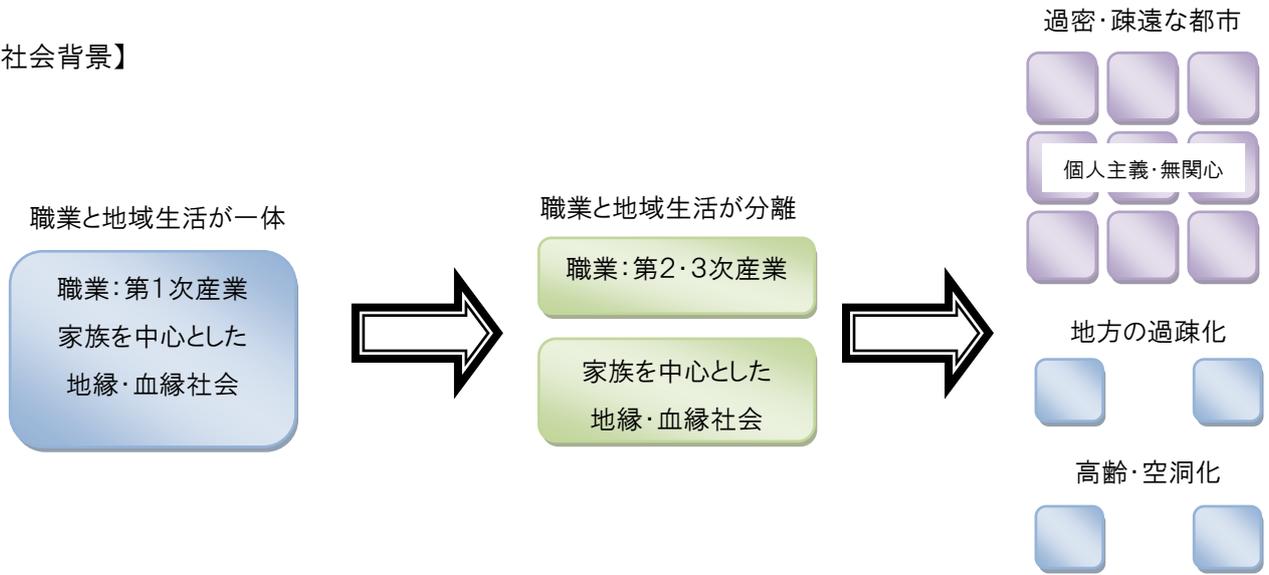


# 地域福祉とは

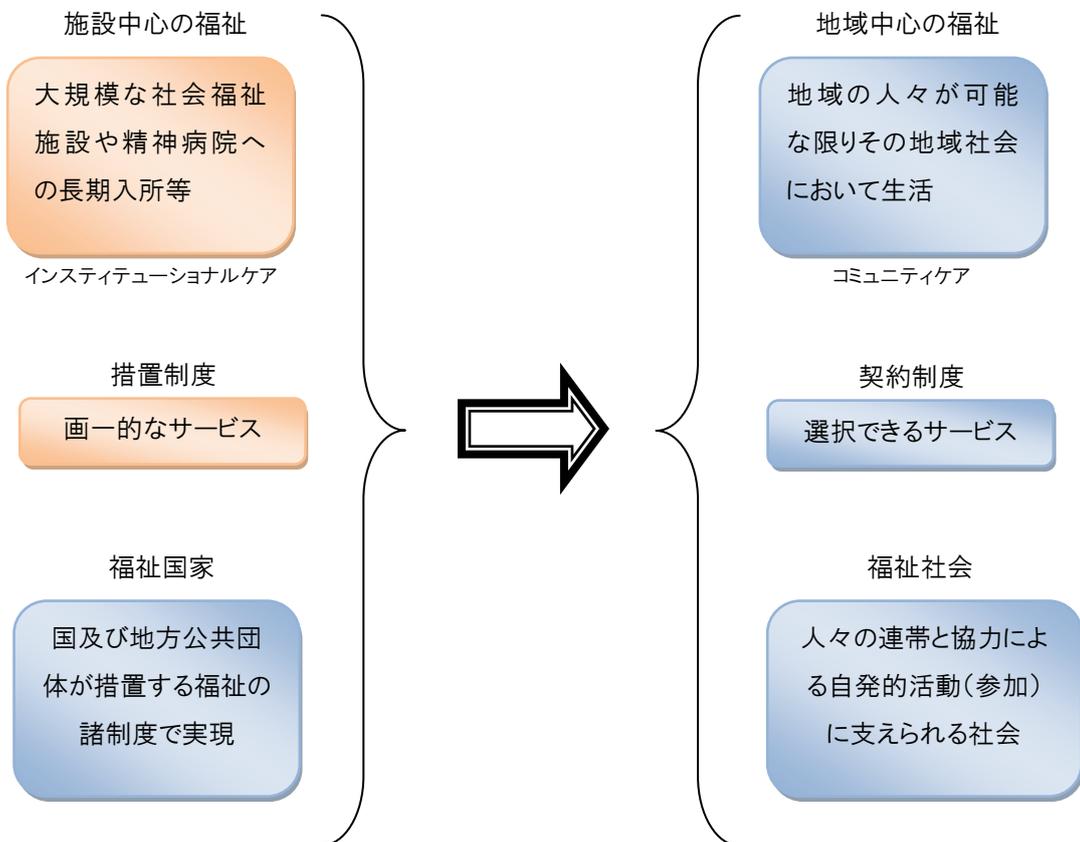
確立された概念はない。

## 背景

### 【社会背景】



### 【政策背景(社会福祉基礎構造改革)】



## 望まれる社会像(概念)

### ノーマライゼーション

障害等のある人も、一般市民と同じ生活を送る権利があり、それが実現できている社会がノーマルな状態であるという考え方。

### ソーシャルインクルージョン(包含社会)

孤独や孤立、排除や摩擦などから人々を守り、健康で文化的な生活を実現できるよう、社会の構成員として包み支え合うという思想。

## 地域福祉とは(諸説)

- 地域の人々が、可能な限り、その地域社会において必要なサービスを利用しながら生活ができるように援助していくという考え方
- 医療や保険のサービスと連携しつつ、地域の創意と工夫、地域住民の理解と協力の上に推進されるもの
- 様々な次元のコミュニティ(地域社会)において、地域住民の持つ様々な福祉ニーズの充足に向けて、住民自らが主体的に取り組み、それを実現することで成り立つ概念

### (本市においては)

私たちが日頃生活している地域には、子どもから高齢者、障がいのある人や生活に困っている人など、様々な人々が暮らしています。そのすべての人々が住み慣れた場所で安心して暮らしていくために、行政や社会福祉協議会、事業者やボランティア団体などのほか、地域の住民自身も自分の地域の中の人々が持つ様々な問題の解決に向けて一緒に取り組むこと。

## 地域福祉の推進主体

### 1 コミュニティワーカー

- 地域実情把握・ニーズの明確化、地域資源発掘・開発、情報提供、関係機関・団体との連携協働促進、住民への福祉教育、主体性の養成など

### 2 社会福祉協議会職員

- 福祉サービスの提供、相談活動、ボランティア活動・市民活動・当事者活動支援、共同募金運動への協力、権利擁護など

### 3 ボランティア活動

○日常的・定期的、専門的・非専門的、様々な分野・性質・区域・領域における地域住民支援

#### 4 ボランティアコーディネーター

○ボランティアの受け手と担い手の「需給要請」、ニーズからのプログラム開発、潜在的活動希望者の発掘、ボランティア養成・研修、地域団体間の相互調整・ネットワーク構築

#### 5 ケアマネージャー

○縦割りサービスの個人中心への統合・転換、要介護者や家族の相談、ニーズのアセスメント(情報収集・事前評価)、ケアプラン作成、障害者ケアマネジメントなど

#### 6 民生委員・児童委員

○要援助世帯の発見・助言・援助、一般相談助言、行政・社協の制度内容・手続きの伝達・情報提供、関係機関や専門家との連絡調整、制度に対する行政への意見具申。

#### 7 当事者組織・セルフヘルプグループ

○(子育てサークル・認知症家族の会など)地域内ニーズの顕在化、行政への参画、関係機関・病院・社会福祉施設等との連携、ネットワークづくり、孤独感の緩和・自己再発見等情緒的支援

## 地域福祉の定義

- ①市町村の区域をもって実現される福祉(全国一律の内容ではない)
- ②全住民を対象とし、住んでいるところで実現する福祉(障害の有無等に関わらずすべての人が対象)
- ③高齢者・障害者・医療・男女共同など各分野・諸項目が総合化された福祉(個別制度ではない)
- ④居住する地域で済む人が互いに支え合う地域社会を基礎とする福祉(施設や制度を中心とするものではない)
- ⑤住民が自ら参加して計画を定めて、自らが実現する福祉(行政主導ではない)
- ⑥在宅、施設など、地域に関わるすべてを総合する福祉(一部の関係者のみに関わるものではない)
- ⑦福祉の供給主体が、社会福祉協議会、社会福祉法人、企業、NPO法人、ボランティアなど多様な主体と住民が中心になる福祉(サービス供給主体が限定されない)
- ⑧必要とする誰にでも、365日・24時間、サービスの提供を原則とする福祉(営業時間がない)
- ⑨社会参加と生きがいづくりを目指し、地域交流、ネットワーク化により実現する福祉(個々人の救済ではない)
- ⑩まちづくりを含め、市町村が総合的に調整し責任を持つ福祉(法に拘束されない)

## 望まれる地域福祉の状況

- ①福祉相談窓口が24時間・365日開いている。
- ②ニーズが、プライバシーに抵触しない範囲で、可及的最大限度迅速にキャッチされるような体制づくりがなされている

る。

- ③情報公開が基本としてあり、福祉情報の広報が徹底している。
- ④福祉教育が家庭で、学校で、地域で職場で徹底してなされている。
- ⑤ハンディキャップを孤立させない配慮や手だてが地域に備わっている。
- ⑥質の良い福祉サービスが、フォーマル、インフォーマルともに、経済的、心理的負担を心配しないで利用できる。
- ⑦フォーマルな、インフォーマルな地域福祉計画その他のプランニングは、当事者参加、住民参加が原則となっている。
- ⑧ハンディキャプトのセルフエスティーム(自尊感情、自己価値)を高めるように配慮している。

## 地域ケアシステム構築への寄与

### (地域ケアシステム)

限られた貴重な保健・医療・福祉資源を有効に活用(有限の資源の最大限の活用)し、地域住民の生涯にわたる自己実現を保障し、健康で文化的な日常生活を相互的支援を基盤とした社会的支援(ソーシャルサポート)により達成すること

### (地域ケアシステムの課題)

- ①地域の社会システム、例えば「ふれあいのまちづくり事業」等の中で関連付けられる地域ケアシステムとなること
- ②地域ケアシステムの理念や目的・方向性が、ノーマライゼーションとソーシャルインクルージョンを基本理念として行われる、自立支援、個人の尊厳性、QOLの確保等を基盤とすることが地域住民に明確に示されていること
- ③地域の保健・医療・福祉・建築等の他職種協同・連携・統合によるチームケアとソーシャルサポートネットワークを確立化させること
- ④ニーズ発見と相談体制の充実、さらにプランニング・実践・モニタリング・評価までの包括支援と、ネットワークによる長期継続的ケアを充実させること
- ⑤広域自治体の連携や役割分担による地域ケアの質と量の地域間格差を是正すること
- ⑥各種制度の横断的・包括的なケアマネジメント、地域社会資源の活用と社会資源を開発できるケアマネジメントやコーディネートを確立すること
- ⑦地域ケアシステムに関係する十分な専門的マンパワーの配置と住民に対する教育研修機関を確立すること
- ⑧超高齢化社会を迎えるにあたって、人間の死に焦点を当てたターミナルケアや対象となる家族のケアも含めたホスピスの考え方とその体制を地域ケアシステム内に導入すること
- ⑨地域ケアシステムがその理念や目的から鑑みて個人の選択の自由を縛るものではなく、住民の主体的なボランティア等の参加の醸成を促進すること
- ⑩医療から予防・保健・健康増進へ、ケアから介護予防へシフト化される健康増進的介護予防体制を確立すること
- ⑪ソーシャルサポートネットワークにおける情報の共有化に伴う個人情報保護と信頼関係の構築、さらにプライバシーの確保・虐待防止・人権擁護体制を確立すること

## 地域福祉計画とは

- 人々の様々な違いを理解し合い、人間としての尊厳を保ち、排除や差別されることなく、住み慣れた地域や家庭において生活し続けることができる安全と安心、QOLの向上を図るための基本的な計画
- 高齢者、児童、障害といった分野別行政計画を包含した総合的な計画
- 住民及び社会福祉を目的とした事業経営や活動に携わるすべての関係者そして当該自治体が共同して策定する行政計画

### 【地域福祉計画(市の計画)】

住民、関係専門職団体、そして行政のそれぞれの役割や機能の明確化と地域福祉推進のために必要な関連分野を含む社会資源や福祉情報の双方向の在り方などを整理して基本フレームを組み立てる

### 【地域福祉活動計画(社協の計画)】

住民の役割と何をどう活動展開するのかを中心に掲げる、地域福祉計画の実施計画

(計画策定・計画実行にあたって地域に必要とされること)

- 住民参加のプラットフォーム・合意形成のための討議の空間が必要
- 小地域ごとの実現可能な実施計画(行動計画)を住民自らが作る必要がある
- 地域に存在する有用な人材を効果的に活用するコーディネート(事務局)機能、リーダーが必要  
(本市における策定段階においては、社会福祉協議会がこれを補完)
- 計画策定・計画実行の状況等、地域全体と実施者との双方向の情報共有システムの構築が必要